熱・キズに強いお手入れ簡単キッチン

キッチンは今流行りのグレージュという色を基調として います。床と色を合わせることで統一感がでて洗練され た空間へと変わりました。

キッチンのワークトップはセラミックトップになってお り、熱やキズに強くお手入れもしやすいため長く美しさ を保つことができるキッチンとなっています。 リクシル・リシェルSI使用。

岡山市・K様邸

予算

施工内容

・キッチン改修工事 キッチン取替工事130万(税込)

• 内装工事 内装工事70万(税込)

施工年月 工事期間

約5日 2022年9月

取っ手の黒色がアクセントに







リクシル UDINSI

セラミックカウンター やキッチンコンセント を採用した上級グレー ドのキッチンです

- 対面 | 型キッチン
- 間口2550



カウンター

カウンターの長さを壁 まで伸ばしスッキリと 収めました





既存の床に厚さ1.5mm のリフォームフロアを 上貼りしました





詳しくは当社へお問合せください!

耳 ライフアシスト中央

https://lifeassist-chuo.com/

ライフアシスト中央







見えない品質、感じる潤い ライフアシスト中央

キッチン誕生の歴史





お問い合わせは

0120-960-402

受付時間:月~金曜日/第1·第5土曜日8~17時

キッチンが誕生するまで

昭和初期の台所はあまり日が差さない北側に位置にあり茶の 間から少し離れた場所にありました。戦後 10 年あまりたった 頃公団住宅の建設が始まり、現代のダイニングキッチンの原 型となる台所兼食事室のスタイルが広まっていきました。

はじまり

1956 ダイニングキッチンの誕生

サンウェーブ工業(現 LIXIL)が日本で 初めてのステンレス深絞り流し台を開発 し、公団住宅に採用されました。

そこからステンレス製の流し台が一気に 普及し、台所と食卓が1つになった「ダ イニングキッチン」が世に広まりました。



設置スペースに合わせてキャビネットを 組み合わせる現在のキッチンのかたちが できました。



ステンレス流し台が普及した背景には、 プレス工法というやり方で大量生産が 可能になったこと、庶民でも買えるくら い値段が安くなったことがあります。



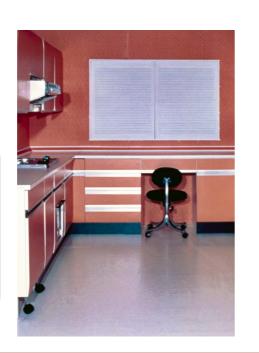
アメリカで開発され日本にも入り始めていた「ステンレス」を使うことが公団住宅のダイ ニングキッチンを導入するにあたりあらかじめ決められていました。耐久性に優れており 見栄えもよかったためでした。職人が 1 つずつ手作業で溶接していたため当時の一般的 な流し台の5倍もコストがかかり、さらに大量生産が必要不可欠になっていました。サン ウェーブ (現 LIXIL) が製作に取り組み 1956 年 9 月に日本初のステンレス深絞り流し台 を完成させました。

1973 日本初のシステムキッチンを開発

ヨーロッパで主流になっていたキッチンユニットをク リナップが日本向けに改良しました。

「システムキッチン」と名付け、国内で販売しました。

当時の日本は高度経済成長期でさまざまなも のが海外から日本にやってきた時代でした。 小型自動車やカラーテレビ、システムキッチン もそのうちの1つです。冷蔵庫や電気炊飯器、 電子レンジなどの台所機器も次々と便利な製 品が登場しました。



TOTOがシステムキッチン 「デラックスシリーズ」を発売



クリナップシステムキッチン 「クリンミセス」 1990



LIXILがシステムキッチン 1984 「サンヴァリエ」を発売



TOTO システムキッチン 1999 「スーパーレガセス」



2020



TOTO システムキッチン 「ザ・クラッソ」



LIXILシステムキッチン 「リシェルSII

使いやすいキッチンの高さを選ぶ方法

キッチンの高さは5cm刻みの80cm、85cm、90cmの3段階設定のメーカーが多く、 2.5 cm刻みの 82.5 cm、87.5 cmに設定されているメーカーもあります。どの高さ のキッチンが使いやすいかはそれぞれの身長によって違います。

適正な高さは「身長 ÷2+5 cm」と言われており、例えば身長 160 cmであれば $160 \div 2 + 5 = 85 cm となります。$

また複数人で使う場合はよく使用する方 に合わせるか、使う頻度にあまり差がな い場合は背の高い方を基準に選ぶのが おすすめです。ぜひキッチンを選ぶ際の 参考にしてみてください。



 $\div 2 + 5 \text{ cm}$

受付中



岡山市南区の築30年のマンションをリノベーションし、 全く新しい空間に!いつでもご見学いただけます。

お気軽にお問い合わせください♪ **500** 0120-960-402

(受付時間:月~金曜/第1・第5土曜8~17時)



補助金を活用して お得にリフォーム!



どんな人が対象となるの?

世帯を問わず

対象となるリフォーム をした方が対象です



どれくらいの補助が受けられるの?

工事の内容や属性に応じて

5万円~最大**60**万円の

補助が受けられます



詳しくは、お問い合わせいただくか アシスト通信春号のバックナンバー をご覧ください。 詳しくはこちら

